

富士山

フォト劇場 (50)

写真が生まれるものがたり

着陸の体勢に入り機窓には夕焼け富士が見え始めたり
佐藤紀子

小学三年まで、富士山麓の御殿場で「富士は見えて当然」と思って育ったせいかな、その美しさや雄大さに気づいたのは、後に御殿場を離れてからで、更にそこに懐かしさが加わったのは、国を離れてからのことであった。

明けがたの夢に出できて新田次郎「冬、山頂で会おう」と言ひたり
近藤哲夫

中年からはじめた百名山。体力の衰えもあり五十五でとまったままだが、その中に富士山はない。高さ二番の北岳、三番の奥穂高は早めにクリアしたが、富士はいつでもと思ったのがいけなかった。もう無理だろう。



富士うれし富士をよろこぶきみうれし晴れわたる
空ふるさとの旅
白川ユウコ

小学校、中学校、高校の校歌はみな富士を讃える歌い出し。富士に朝の日が光る、日本のしるし富士山を、霊峰富士の峰高く…静岡市では当たり前前にもその姿が見えたので、大人になつてからありがたみがわかりました。

ミナナロー
3776グラムで生れしゆゑの名と言ひし富士雄
君 やさしかつたよ
小野はつね

何十年昔になるだろうか。初めて新幹線の車窓から富士山を見た時の驚きを覚えている。車内放送に目を凝らす私の予想をはるかに越え頂きは空高くそびえていた。富士山は遠くからただ仰ぎ見る山であると思う。